

令和元年 7 月 8 日

関係学部・研究科の長 殿
関係研究機関の長 殿
関係各位

名古屋大学大学院生命農学研究科
動物科学専攻鳥類バイオサイエンス研究室
教授選考委員会

委員長 大蔵 聡

動物科学専攻鳥類バイオサイエンス研究室教授の公募について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、名古屋大学大学院生命農学研究科では、動物科学専攻鳥類バイオサイエンス研究室の教授 1 名の公募を下記の要領で行います。つきましては、関係各位への周知方よろしくご高配賜りますようお願い申し上げます。なお、貴機関以外でも適任の方をご存知の場合は、その方にお伝えいただければ幸いです。

記

1. 選考方針

動物科学専攻は、動物の持つ多様な機能を分子・細胞から個体・集団レベルで統合的に解明し、持続的な食料生産と健康の向上に貢献することをめざした動物科学に関する教育と研究を行っています。

今回、本専攻の鳥類バイオサイエンス研究室を担当する教授を公募します。当該研究室は、生命農学研究科附属鳥類バイオサイエンス研究センターを統括しており、文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)「ニワトリ・ウズラ」の中核的拠点として、ニワトリ・ウズラリソースの収集・保存・提供とその高度化によって、わが国の生命科学研究の発展に貢献しています。当該研究室は、これらのリソース事業を推進するとともに、鳥類の生命科学における先端的な教育と研究を推進し、さらにアジア諸国を中心とした国際連携にも貢献することが求められています。

今回公募する教授の選考にあたっては、主に鳥類を対象とした生殖工学、遺伝育種学、発生学、生理学、分子生物学、ゲノム機能科学などの研究分野において優れた研究業績をもち、世界をリードする先端的な研究を推し進めることによって、応用動物科学、農学、さらには生命科学の発展に貢献できる人物を求めます。また、大学院および学部における教育と研究指導に熱意をもって携わり、かつ大学組織の管理運営に責任感と協調性をもってあたる人が望まれます。さらには、リソース事業の中心的な役割を担い、附属鳥類バイオサイエンス研究センターの教員、研究員、技術補助員らを統括して同センターの管理運営に取り組んでいただきます。

2. 選考方法

選考委員会で審議選考し、研究科教授会の議を経て候補者が決定されます。なお、選考にあたり、選考の過程は必要に応じて研究科内の教員に公開されますが、個人情報の保護に配慮します。

3. 動物科学専攻鳥類バイオサイエンス研究室の教員構成と授業担当

1) 教員構成

鳥類バイオサイエンス研究室の現在の教員構成は、教授 1 名(本公募)および准教授 1 名です。

2) 着任後は、大学院および学部における講義、実習などを担当していただきます。

4. 応募に必要な書類

- 1) 応募する旨を明記した書類および応募者の連絡先（電子メールアドレス、電話番号など）
- 2) 履歴書（様式任意）
- 3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他などに分類してください）
- 4) 研究業績の別刷（主要なもの 10 編程度、コピーでも可）
- 5) 現在までの研究の概要（2,000 字程度、研究業績リストの番号を引用して作成して下さい）
- 6) 今後の研究についての抱負（2,000 字程度）
- 7) 大学院・学部における教育に対する考えと抱負（1,000 字程度）
- 8) 大学の管理運営、NBRP リソース事業および国際連携に関する抱負（1,000 字程度）
- 9) 過去 10 年間の研究費取得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて獲得年度、研究期間、名称と直接経費の総額を明記のこと）
- 10) その他（教育・研究活動、学協会関連活動、社会貢献、国際協働などで選考の参考となる事項があればお書きください）
- 11) 応募者について照会できる方 2 名の氏名および連絡先（電子メールアドレス、電話番号など）

※上記の各書類 1 部に加え、「4) 研究業績の別刷」以外の書類をひとつの PDF 形式のファイルにまとめ、「4) 研究業績の別刷」の各 PDF ファイルとともに CD 等のメディアに保存して送付してください。

※応募書類は本選考のためだけに使用し、それ以外の目的には使用しません。応募書類は、選考終了後に本選考委員会が責任をもって処分し、返却いたしません。

5. 応募方法

書類は、「応募書類在中」と朱書した書留便など配達記録の残る方法で下記へお送りください。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院生命農学研究科

動物科学専攻鳥類バイオサイエンス研究室教授選考委員会

委員長 大蔵 聡

応募期限は、令和元年 9 月 6 日（金）（必着）です。

6. その他

- 1) 勤務形態：常勤（任期なし）
- 2) 着任時期：令和 2 年 4 月 1 日を予定。
- 3) 選考の過程で、面接、セミナーなどをお願いすることがあります（旅費・滞在費は応募者の自己負担）。
- 4) 公募に関するお問い合わせは、本選考委員会委員長（大蔵 聡）宛にお願いいたします。
E-mail: saohkura@agr.nagoya-u.ac.jp
- 5) 令和元年 9 月 11 日までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、委員長までお問い合わせください。
- 6) 当研究科では、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。名古屋大学の取り組みについては、名古屋大学男女共同参画センターのウェブページをご覧ください。
<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>
- 7) 本公募については、名古屋大学および大学院生命農学研究科の教員公募ウェブページ、また科学技術振興機構研究者人材データベース（JREC-IN）のウェブページにも掲載していますので、ご参照ください。
- 8) NBRP リソース事業については、NBRP「ニワトリ・ウズラ」のウェブページをご覧ください。
<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~nbrp/index.html>
- 9) 第 4 期 NBRP リソース事業（平成 29 年度～令和 3 年度）の展開によっては、鳥類バイオサイエンス研究センターの業務内容が変更される可能性があります。